

第7回五段位認定会・筆記試験が実施されました

第7回五段位認定会・筆記試験が実施されました。令和に年号が替わって、初めての五段位認定会・筆記試験となります。猛暑の中にも関わらず、受験者64名全員が筆記試験に臨みましたので、その概要についてご報告します。(報告:段位認定部 横田節子)



筆記試験会場

1. 日時 令和元年8月3日(土)
午後1時 ~ 午後5時
2. 会場 麺業会館2F 会議室
(東京都千代田区神田神保町2-4)
4. 筆記試験日程

科 目	時 間
受 付	12:30 ~ 12:40
ソバの栄養学と健康機能に関すること	13:00 ~ 13:50
ソバの品種・栽培に関すること	14:00 ~ 14:50
そばの歴史・文化に関すること	15:00 ~ 15:50
全麺協・段位認定制度に関すること	16:00 ~ 16:50
終 了	16:50

5. 筆記試験を実施して

連日、真夏日が続く東京で、「第7回五段位認定会・筆記試験」が実施されました。筆記試験会場は全麺協の本部を置く麺業会館の2階会議室です。先に実施された「一次審査」を通過した受験者は、炎天下の中を緊張した面持ちで受付を済ませて筆記試験会場に入りました。試験会場となった会議室の空調は強目に設定しましたが、それにも増して緊張の空気が張り詰めていました。受験者の方々は寸暇を惜しんで、そば打ち教本や各自が作成したノートを開いて、試験が始まる直前まで該当する試験科目の内容を復習する熱心な姿が見受けられました。

今回の筆記試験には、47歳から85歳までの広い年齢層で構成された64名の受験者が挑戦されました。五段位認定会は「そば打ち技能だけに偏重することなく、時間をかけて審査を行う」との考え方のもと、今年7月に実施された「一次審査(小論文、活動記録)」、今回の「筆記試験」、10月の「本審査(実技審査・意見発表)」を経て、ようやく認定される最高段位です。

受験者の皆さんは筆記試験に向けて精一杯かつ真剣に勉強を積んで来られた方々ばかりのようで、試験時間一杯まで真剣に問題に取り組まれ、試験の途中に席を立つ方は一人も居ませんでした。遠路から受験された方の中には、前日から東京に宿泊されて筆記受験会場を下見されたり、試験を終えた翌日には同行したご家族と一緒に観光をされる方もおられました。



加藤専務理事あいさつ



筆記試験会場